

みつけよう

キラリ
看護

社会医療法人 親仁会
米の山病院 ☆ みさき病院

看護職員募集案内

米の山
病院

米の山病院

「いつでも、どこでも、だれでも、安心して

かかれるよい医療」を目指して...



※全日本民生医療機関連合会の略称

「民医連」の病院として、無差別平等のもと、分け隔てのない医療・看護をすすめてきました。命の平等をつらぬき、差額ベッド料は一切いただいていません。また、治療費にお困りの方には、無料低額診療制度を活用し、お金がなくても安心して医療が受けられます。現在、大牟田市周辺の広範囲なエリアで2つの病院、3つの診療所1つの訪問看護ステーションなど、合わせて11カ所の医療・介護事業を運営しています。救急医療、在宅医療などにも取り組み、無差別・平等の地域包括ケアの実現を目指しています。

☆いのちを見つめる外来看護

外来看護科では、24時間365日いつでも安心してかかれる医療を提供しています。専門医外来ではかかりやすさを追求した予約制を中心に、働いている方々の夜間特診を設け、慢性疾患患者の全身管理とプライマリーを目的とし、受診時のみならず、未来院時の声かけや再予約の受付、検査の案内など、患者さんが安心して治療が続けられる

よう援助しています。救急外来では、地域の一次、二次救急を担当し、「救急は断らない」風土を貫き、救命率の向上に努めています。



☆患者・家族の思いに寄り添って



住み慣れた家に帰りたい

いつもニコニコ笑っていたAさん。徐々に病状が悪化していきました。

「帰っておいで」というご家族、そして「帰りたい」というAさんの思いに寄り添って、自宅への外出を提案。ご家族の「ぜひお願いします」という前向きな言葉を機に準備開始。

何度も打ち合わせを重ね、万全の体制を整えて、その日を迎えました。病状は一進一退、意識レベルの低下もありました。その日は、看護師2名、介護士1名が同行し、ご自宅へ。



ご家族の声、住み慣れた自宅の雰囲気を感じられたのか、「ばあちゃん、わからね? あんたの部屋ばい」ぐるりと周囲を見回し、うなずきながら何度も微笑んでいました。

残念ながら、翌月、永眠。「もう帰れないだろうと思っていただけ、思いがけず、いい思い出ができてよかった。ありがとう」とご家族からの言葉でした。



患者さんやご家族の思いに寄り添った看護を日常的におこなっています。



かつては炭鉱労働者の街、大牟田。じん肺や喘息など公害病に苦しむ人たちが、安心してかかれる自分たちの医療機関をつくらうと、1963年に親仁会を設立しました。

☆「その人らしさ」を支える在宅支援

医療の高度化や複雑化への対応、安全性の向上や患者さんの思いに寄り添うためには、各職種の専門性を生かし、情報を共有し、対等に意見を出し合うチーム医療が大切です。日常的

な多職種参加によるカンファレンスや各委員会活動(BLS・ACLS委員会、感染対策委員会、栄養サポートチーム、褥瘡対策委員会)を通じて、チーム医療を展開しています。



☆患者さんの思いに寄り添うチーム医療

回復期リハビリ病棟では、入院前のように自分らしい生活を取り戻せるようお手伝いしています。他職種と介護の統一をはかるためのADLミーティングでは、患者さん自身が注目され、恥ずかしそうに照れた顔や、いつもよりがんばっている姿が見られます。麻痺があり一人で歩けなかった患者さんも手引き歩行

ができるようになりました。自宅退院にむけての家屋調査では、住宅改修や福祉用具の選定、問題があればリハビリに取り入れていきます。退院される患者さんの笑顔に励まされます。



米の山病院



当院は、予防から急性期、リハビリ期、慢性期と幅広く地域に根ざした医療看護活動を展開しています。毎年十数名の新卒看護師を受入れ、卒後研修制度の充実や労働環境改善に力を入れています。全看護職場にて「患者参加型看護計画」を取り入れ患者さんの気持ちに寄り添った看護を展開しています。チーム医療の実践として、褥瘡、感染、医療安全、ACLS、NST、RSTなど多職種を交えた委員会があり、活発に活動しています。一緒に看護の素晴らしさを実感してみませんか!

看護部理念

- 1、人権を尊重し、患者の思いに寄り添う看護を提供します
- 1、常に学ぶ姿勢を持ち、安全で信頼される看護をめざします。
- 1、人々の命と健康を守る活動を通じて、地域に貢献します。

主要診療科目	内科、小児科、循環器内科、外科、整形外科、消化器内科、呼吸器内科、放射線科、泌尿器科、麻酔科、神経内科、リハビリテーション科、眼科、漢方内科、腎臓内科・透析、歯科、口腔外科
病床数	219床(一般病床123床7:1看護加算取得・地域包括ケア病棟48床・回復期病床48床)
施設認定	日本医療機能評価機構認定・救急告示病院・臨床研修指定病院・DPC対象病院・卒後臨床研修評価機構認定病院
外来患者数	393.8名/日
入院患者数	212名/日
平均在院日数	17.2日 (2018年平均)
職員数	469人(看護職227人)、看護師の平均年齢39.8歳
附属施設	健診センター、人工透析、通所介護事業所(デイサービス) (2018年12月現在)

みさき病院



医療型療養病棟を有し、リハビリテーション、認知症の対応、摂食訓練など特徴的な看護経験を蓄積しています。特に、回復期、維持期のリハビリテーション、高齢者医療、認知症、慢性疾患医療、心のケアを重点的に行い、「心と心の通い合う医療・福祉を全ての人々に」を目指しています。

看護部理念

- 1、安全・安心な看護・介護を目指します。
- 1、えがお・優しさ・思いやりを大切にします。
- 1、地域に信頼される看護・介護を目指します。

主要診療科目	内科・小児科・呼吸器科・循環器科・胃腸科・リハビリテーション科・放射線科・神経科・精神科・皮膚科
病床数	144床(一般病床48床・回復期リハ病棟48床・療養病棟48床)
外来患者数	外来88.2名/日
入院患者数	141.3名/日 (2018年平均)
職員数	職員数:231人(看護職79人) 看護師の平均年齢37.1歳
附属施設	介護老人保健施設くろさき苑併設(100床) (2018年12月現在)



ひとりひとりの成長に合わせた **看護** 6月



患者さんの人権を尊重し、質の高い看護の提供ができるよう、看護師教育に力を注いでいます。卒後の初期教育から中堅教育、キャリアアップまで、ひとりひとりの成長に合わせた教育をおこなっています。法人内での集合教育や職場内教育とともに、看護協会や関連病院の研修など学びの場は多岐にわたっています。

3年目
2年目
1年目



ナースの声

充実した卒後教育が受けられます



5階南病棟 横尾 紗希

入職後は、学校や実習とは全然違う現実に戸惑うことばかりでした。しかし初期研修では基礎的な知識、技術を学ぶことができますし、多重切迫業務の研修では、患者様の対応力や優先順位の必要性などを学び、日頃の業務や夜勤に繋げることができます。なにより卒後3年までプリセプターがつくというのが心強く、先輩方の優しいサポートもあり、一人ひとりのペースで成長できる環境になっています。

節目には、がんばったメッセージや花をプレゼント。

初期教育

人づくり、職場づくりを念頭において、実際に患者様の要求にこたえられる看護の考え方や技術を身につけられるよう卒後研修を制度化しています。就職1年目から3年目までプリセプターを配置し、看護技術・知識はもちろん、精神的な面のサポート体制も充実しています。

中堅教育

看護師として質の向上やリーダーシップの発揮などを目標に、中堅看護師研修を実施しています。QCサークル活動を通じて、小集団による問題の改善、効率化対策について学びます。



全看護師対象の教育や講演会

医療安全、感染対策、輸液ポンプの管理、人工呼吸器の管理、ACLS、BLS、NST、創傷ケア、接遇などのテーマで、随時、学習をすすめています。また、法人や県、全国などの「看護介護研究交流会」に参加し、学び、発表をおこなっています。



中堅
リッパな看護師になりたい♡
そう誓った日を
わすれないで...
あなたのスキルアップを
大応援

就職して良かった(中途採用)



3階南病棟 吉野 なぎさ

私は米の山病院に中途採用で入職致しました。急性期病棟で忙しくも充実した環境で働いています。当初、米の山病院を選んだのは「自宅から近い」という理由でした。病院のことを何も知らず入職しましたが、制度研修など学ぶ機会が多く、教育面がとても充実していると感じました。結婚などを機にこれまで複数の職場を経験してきましたが、毎回不安に思うのは「新しい職場での人間関係や雰囲気になれることができるか」と、自分より若年層のスタッフが「年上の中途採用は扱いにくいだろうなあ」ということです。元々、人見知りな性格なのですが、病棟スタッフが温かく迎え入れて下さり、まるで十数年一緒に働いているかのように馴染むことができました。先にも申し上げた通り多忙な病棟ではありますが、スタッフで協力し毎日楽しく働いています。これを讀んで下さっているあなたも、私たちと一緒に明るく楽しい職場で働いてみませんか。



認定看護師の声

地域の中で感染対策しています



感染管理認定看護師 染谷 涼子

2016年7月に感染管理認定看護師となり、現在米の山病院で感染管理専任として働いています。当院の認定看護師支援制度と家族の協力のおかげで、専門教育課程での約7ヵ月間の研修を修了することができました。感染はまた、その学びが現在の実践に繋がっていることを日々実感しています。院内の問題だけではなく、地域でも様々な感染症が問題となります。感染管理認定看護師として、院内の方々だけではなく地域の方々も感染から守ることが私の役割だと思っています。そのために、依頼があれば地域へ向かい感染対策のお話をさせて預けています。また、日頃の業務でも積極的に現場に介入していき様々な職種の方と感染対策について取り組んでいます。

看護部現任基本教育プログラム プリセプター制による教育

現任教育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卒後1年目	●入職時オリエンテーション ●集合教育5日間	●吸引・流鼻・導尿・挿管介助 ●離床と身体拘束について	●リフレッシュ研修 ●3カ月目チェック	●看護職のフィジカルアセスメント	●呼吸器のフィジカルアセスメント ●症例の取り組み方について ●看護必要度	●時間切迫多重業務課題の説明 ●6カ月目チェック ●フォローアップ研修	●時間切迫多重業務課題演習	●時間切迫多重業務課題演習のまとめ	●看護倫理綱領 ●ストレスケア	●症例提出メチ	●1年間の振り返り	●(翌年度4月に症例発表会) ●12カ月目チェック
卒後2年目	●プリセプターと一緒に日動自立まで指導・援助	●日動ひとり立ち	●日動ひとり立ち	●プリセプターと一緒に夜動自立まで指導・援助	●オリエンテーション ●メンバーシップについて	●ユマニティの研修会 ●退院支援について ●症例の取り組みについて	●介護保険について ●社会資源について	●メンタルヘルスの研修会	●サービス担当者会議への出席	●退院前訪問を行い、症例へつなげる	●フォローアップ研修 (GW)	●症例発表 ●総括研修 ●フォローアップ研修 ●卒3看護研究のオリエンテーション
卒後3年目	●オリエンテーション ●リーダーシップについて ●看護研究	●看護研究(研究計画書の講義)	●看護研究(研修計画書の検討会)	●接遇について ●フォローアップ研修 ●看護研究(論文の書き方) ●リーダー業務チェックリスト点検	●看護研究発表会	●看護研究提出メチ	●総括研修 ●中堅看護師との講義 ●フォローアップ研修	●看護研究発表会 ●リーダー業務チェックリストの点検				
中堅	●中堅研修へ											

レベルI

1. 指示・手順に従い、安全に日常看護業務を実践する
2. 職場の一員としての所属感を持ち、メンバーシップを発揮する
3. 自己啓発の必要性に気づき、研修に参加する
4. 看護研究に参加する

レベルII

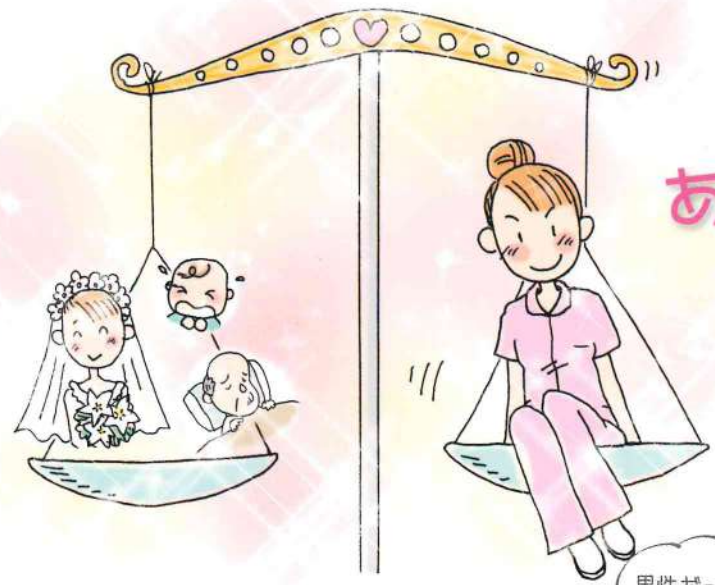
1. 自律して、日常看護業務を遂行する
2. 状況に応じて、リーダーシップを発揮する
3. 参加した研究を看護実践に生かす
4. 課題を、研究的に取り組むことができる

レベルIII

1. 潜在的な問題を予測しながら、日常看護業務を遂行する
2. 看護実践の役割モデルとなる
3. あらゆる場面で、リーダーシップを発揮する
4. 習熟度の未熟な看護師に対して、知識や技術の習得を支援する
5. 看護研究を通して、専門看護を深める

クリニカルラダー

ワークライフバランスで働き続けられる環境づくり



夢をあきらめないで♪

- 高い定着率のひみつ
- 妊娠判明で夜勤免除
- リフレッシュ休暇
- 生理休暇
- 入社祝い金
- 産休・育休・介護休暇などの制度も活用して、働き続けられる職場環境があります。
- 残業の削減や有給休暇の取得、身体に優しい勤務など労働環境改善の取り組みを推進しています。
- 時短制度を導入し、産休・育休・介護休暇などの制度も活用して、働き続けられる職場環境があります。
- 男性だって育休で子育て

パパナースの子育て奮闘記

5階南病棟 堤 健一

私は、12年前に米の山病院に就職し、結婚（妻も看護師として、ともに働いています）・子供の誕生という大きなイベントを経験し、今では2人の子供の父親として、日々の子供の成長に驚きながら奮闘しています。出産を振り返ると、運よくどちらの出産にも立ち会うことができ、産休まで取得することができました。最近男性の産休・育休の話題を耳にしますが、仕事のことを考えるとなかなか実現できない職場が多いのではないかと思います。そんな中、産休が取得できたことで子供の誕生をじっくり味わう機会が持てました。育休までとはいきませんでしたが今考えると育休を取ることもいい勉強になったのではないかと思います。産休・育休の選択肢があるということは、私たち男性にとっても育児に積極的に参加できる機会になります。また、妊娠・子育てでは病気、行事ごとなど突

然休まないといけない事が多くなってしまいます。私も他のスタッフの方々に交代をお願いしたり、職場長に勤務調整をして頂く事がありますが、大変な中のお預りでも快く返事を頂く事が多く、大変感謝しています。職場を見渡すと子育て中の世代や子育てが落ちついたら方々も多く、親仁会は子育てをしながらも楽しく働き続けられる環境があるのではないかと感じます。子育てで悩んだ時も先輩方にアドバイスを頂いたり、患者さんにアドバイスをもらうこともあります。我が家の子育ても職員のみなさんに支えて頂き、何とか順調にいらっています。まだまだ子供は小さく、我が家の子育てはしばらく続きますが、周りの素敵な職員さんと職場の環境に感謝しつつ、仕事にも育児にも励んでいきたいと思っています。



福岡県の「子育て応援宣言企業」に登録

我が社は、従業員が出産・育児期を通して十分な子育てをしながら、引き続きその職務能力が発揮できるよう次の取り組みを行うことを宣言します。

社会医療法人 親仁会
理事長 橋口 俊則



キラリ看護のつどい

誰もが持っているキラリと輝く看護の体験を共有する場として、毎年「キラリ看護のつどい」を開催しています。毎年様々な報告があり、ドクターや他職種から激励の言葉をもらい、モチベーションアップにつながるよい機会となっています。



「くらしと健康」を守るために活動する「健康友の会」と一緒に、健康講座や青空健康チェック、健康ウォークなど、日々の健康づくりに取り組んでいます。また、ふれあい子ども食堂、盆踊り大会や大蛇山まつりなど地域とともに活動しています。

健康友の会と一緒に



この街が好きだから😊



看護師を目指す高校生、看護学生を応援



☆奨学金制度

対象者 看護師養成機関在籍者
貸与額 月額5万円、入学金5万円 (大学10万円)

- 返済免除 卒業後、看護師免許を取得し、親仁会で貸与期間業務についている場合、返済免除となります。
- 募集期間 随時募集しています。年度途中からの申請も可能です。ただし、募集人数に達した場合はその時点で締め切ります。
- 申請手続き 事前に電話予約にて、奨学金規定の説明・病院見学を実施します。申請書類等の提出、面接後、当法人理事会にて審査・決定を行います。
- お問合せ 親仁会本部・看護部 ☎0944-53-2711



看護師を目指すみなさんに、実際の医療現場に触れたり、学んだりする場を提供しています。進路選択や学業のサポート、モチベーションアップなどに繋がっています。

親仁会 network

米の山病院



〒837-0924 大牟田市歴木4-10
☎0944-51-3311

介護老人保健施設 くろさき苑

〒836-0002 大牟田市岬1254-1
☎0944-54-9639

さかき診療所

〒861-0837 玉名郡南関町上長田638-1
☎0968-53-1125

中央診療所

〒836-0851 大牟田市笹林町2-6-3
☎0944-52-4198

中友診療所

〒836-0032 大牟田市新地町6-1
☎0944-53-5009

みさき病院



〒836-0002 大牟田市岬1230
☎0944-54-0111

おおむた訪問看護ステーション

〒836-0851 大牟田市笹林町2-6-3
☎0944-56-0730

医)親仁会 ケアプランセンター

〒837-0924 大牟田市歴木4-51
☎0944-31-2162

米の山病院 デイサービスセンター

〒837-0924 大牟田市歴木4-58
☎0944-54-8430



本部事務局 〒837-0924 大牟田市歴木4-65 ☎0944-53-2711

問い合わせ先

本部事務局・看護部

〒837-0924 大牟田市歴木4-65 ☎0944-53-2711

<http://www.kome-net.or.jp>

✉ info@kome-net.jp